

大滝ダム運用環境調査委員会

第6回委員会 議事要旨

開催日時：平成20年5月20日(火) 14:00～16:00

開催場所：大阪国際交流センターA・B会議室(大阪市天王寺区上本町8丁目2番6号)

出席者：

- 委員長 田中 哲夫(兵庫県立大学 准教授)
- 委員 井伊 博行(和歌山大学 システム工学部 教授)
- 委員 角 哲也(京都大学大学院 准教授)
- 委員 矢田 敏晃(元大阪府立淡水魚試験場 場長)

1. 議事

(1) 第5回委員会議事要旨及び現地調査結果の報告・解析結果

本年度の貯水位降下方法はダム湖内の地点での表層と下段コンジットゲート敷高の水温差が5.5℃未満であれば、水位降下を実施し、5.5℃以上であれば昨年度と同様、流入＝放流によりダム湖内の水温の鉛直混合を促進した後、水位降下を実施する。

また、昨年度冬期の調査結果について報告がなされた。

(2) 平成20年度の調査計画について

アユ分布状況調査については、調査地点を絞って集中的に調査を実施する。

また、横断測量箇所については3箇所追加する提案がなされた。

2. 審議内容

(1) 本年度の水位降下方法について

- ・事務局案で了承された。ただし、貯水位降下時の調査を実施する。

(2) 昨年度冬期結果及び解析結果について

- ・個々の結果については、他機関が実施したデータ(特に付着藻類に関わる調査)や過去の文献結果とあわせて、現象の考察、解析を進める。
- ・出水時の解析結果はあくまでも、現在の水位が低い状況での結果であることを認識する。ただし、データについては本格運用時の予測に利用できるのではないかと。

(3) 今年度以降の調査計画について

- ・事務局案で了承された。

(4) 委員会規約の改定について

- ・第六条(設置期間)については、平成24年度末まで延長する。

3. 今後の予定

次回委員会は、平成20年12月を予定。